



マリмба・パーカッションアンサンブル

愉快的な打楽器コンサート

リズムでGO!

2015年11月29日(日)

開演/午後1時30分(開場午後1時)

会場/あいとぴあ臼田

定員 100名

入場希望の方は、下記までお申し込みください。

出演 アンサンブル・マレット

演奏予定曲

- 道化師のギャロップ
- くまばちの飛行
- ラテン・メドレー 他

★マラカスやギロ、カウベルなどを使った
体験コーナーがあります。

入場
無料

お申込み・お問い合わせ

(一財)佐久市文化事業団
(佐久市コスモホール内)

☎0267-82-3962

Profile

Ensemble Mallet (アンサンブル・マレット)

1989年に結成された、マリンバ&パーカッションのアンサンブル。マリンバ三重奏を中心に、サロンコンサートやパーティー・イベントなどで活躍中。リーダー那須律子の編曲によるレパートリーは、クラシック小品からラテン・映画音楽まで幅広く、100曲を超える。ドラムやパーカッションの加わった編成では、様々な楽器の説明も交えた「体験型」の楽しいステージを展開。2014年に結成25周年を迎えた。

那須 律子 (マリンバ)



国立音楽大学・大学院音楽研究科器楽専攻を修了。芸術学修士を授与される。1989年よりアンサンブル・マレットを主宰。フリーのパーカッショニストとして、アンサンブル・獅子舞など日本の芸能・サンバカーニバルなど、幅広いジャンルで活動中。全国各地で小中学校のスクールコンサートを行う。また音楽の教科書副教材のレコーディングも多数手がける。アメリカのC.Alanから、マリンバ三重奏のクラシック作品集を3冊出版。

方波見 智子 (マリンバ)



桐朋学園大学、スヴェーリング音楽院(オランダ)卒業。オーケストラ奏者、音大講師等の活動を経て現在即興演奏やバンドでヴォーカルも担う。主宰するスタジオ・バミで音を楽しむWSやミニコンサートを開催。障がいを持つ人々と音楽の可能性を探求中。アンサンブル・マレット、ガジュマル・アンサンブル、まぼろしベイガンズのメンバー。小口ゆいの語りとのCD「みすゞが見た夢/小口ゆいの朗読世界」、ガジュマル・アンサンブルとサカキマンゴーのコラボでCD「リンバ・マリンバ・ライブ・アット・ムサビ」をリリース。

小田 もゆる (マリンバ)



国立音楽大学器楽学科打楽器専攻卒業。手作り打楽器ワークショップにも力を注ぎ、文化庁主催の講座では好評を博す。Percussion Ensemble OKADA of Japanのメンバーとして台湾、韓国、マレーシア、シンガポール、デンマーク公演に参加する。岡田知之打楽器合奏団、パーカッションアンサンブル“フォニックス”、竹楽器楽団“竹鼓舌”等に所属し、「題名のない音楽会」等に出演。オーケストラや吹奏楽の演奏や指導にも携わり、白梅学園大学、和洋女子大学、東京心理音楽療法専門学校にて講師をつとめる。著書「打楽器イ・ロ・ハ」(教育出版)。

継田 和広 (パーカッション)



国立音楽大学打楽器専攻を首席で卒業。同時に矢田部賞受賞。86年CBSソニーバンドオーディションベストドラマー賞受賞。89年ブラジルに訪学。91年NHK洋楽オーディション合格。シエナウィンドオーケストラを経て、東京打楽器合奏団、岡田知之パーカッションアンサンブルに所属。その後、全ての団を退団し歌謡界に転向。新宿コマ劇場の北島三郎公演をデビューに、95年～01年小林幸子、04年より、五木ひろしをレギュラーとしてサポートし現在に至る。TV東京「木曜8時のコンサート」BS朝日「日本の名曲～人生歌がある」レギュラー。佐久演奏家協会会員。

久米 雅之 (ドラム・パーカッション)



東京都出身。高校卒業後プロデビュー。81年、91年にニューヨークとブラジルに滞在。帰国後、渡辺貞夫、小野リサ、ワルター・ワンダレー、エリック・アレキサンダー、スティーヴ・グロスマン等、国内外の著名なミュージシャンと共演。現在、JAM音楽院、山野楽器の講師も務める。2009年に「21」、13年に「March 11th」を発表。14年にはヴォーカルの出口優日の「Just from now」をプロデュース。これら3作品では、作、編曲も手掛けている。教則本「Modern Jazz Drumming」も発刊している。